

11 月 11 日 : 中小型株が買われたが、ベトナム市場は売り買いまちまち

本日のホーチミン、ハノイ市場はそれぞれ異なる値動きとなった。しかし出来高は高い水準を維持し、主に中小型株への買いが目立った。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.18% 安の 1,462.35 ポイントで取引を終えた。同指数は前日 0.24% 高で引けていた。

売買高は前日比 28.4% 増の約 13 億株、売買代金は前日比 28.3% 増の 38 兆 1,000 億ドン（17 億米ドル）となった。

大型株の値動きは軟調で、マーケットが下げる要因となった。大型株で構成される VN30 指数は 0.62% 安の 1,514.36 ポイントで取引を終えた。

時価総額上位 10 銘柄のうち 8 銘柄が下落した。ホアファットグループ（HPG）は 2.4% 安と値下がり寄与度でトップとなった。ビンホームズ（VHM）は 1.3% 安、ペトロベトナムガス（GAS）は 1.2% 安と、それに続いた。これら 3 銘柄は VN 指数の下落に大きく影響した。

その一方で 2% 近く上昇したベトナムゴム工業グループ（GVR）が値上がり寄与度でトップとなった。この他にはモバイル・ワールド・インベストメント（MWG）が 2.7% 高、ベトコムバンク（VCB）が 0.7% 高とそれぞれ買われた。

また中小型株へ引き続き投資家資金が流れ込んだ。ホーチミン市場の中型、小型株指数もそれぞれ 1% 以上上昇した。

「長引く新型コロナは大企業の収益状況に影響を及ぼしており、特に不良債権や新規貸し出しといった問題を抱える銀行セクターに影響が出ている。多くの銀行では人々や企業を支援するために貸出金利を引き下げ、銀行の収益を圧迫した」（ハロー株式投資教室の創業者で、ベテラン投資家のグエン・キム・チ氏）

「またそれに加えて、小売りセクターの大型株であるビンググループ（VIC）、フーニュアンジュエリー（PNJ）の第 3 四半期の売上高はそれぞれ 55%、78% 減少した」（同氏）

「心理的な視点で見ると投資家はポートフォリオを見直し、大型株を売却した。またこれらの銘柄は今まで大きく上昇していた。より投資家にとって割安な水準となるため、テクニカル面での株価調整が必要となっている」 (同氏)

ハノイ市場の HNX 指数は 0.11% 高の 438.73 ポイントだった。出来高も増え、売買高は前日比 24% 増の 1 億 9,000 万株以上となり、売買代金は前日比 14.3% 増の 4 兆 7,000 億ドンとなった。

外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で引き続き売り越した。

ホーチミン市場では 1 兆 2,000 億ドンを売り越し、ハノイ市場では 100 億ドンを売り越した。

ビンホームズ (VHM) とホアファットグループ (HPG) は外国人投資家に最も売られた。売り越し額はそれぞれ 2,950 億ドン、1,510 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。